

業務の新聞

第63号

2020年 10月 13日

共に創る！

「マスクが配布されません！」と訴え続け、エルダーの先輩にやっと1枚のマスクが配布されました。

しかし、残念ながら、マスクの配布は継続されていません。「この店舗に社員はマスクを着用します！」と新型コロナウィルス対策を店頭に掲げているJR東日本東京支社内の駅構内にあるお店の話です。

新型コロナウィルスとたたかうのは、JR東日本社員だけなのでしょうか？エルダー社員、グループ会社社員・パートやアルバイトの方々共にたたかうんじゃないんですか？

団体交渉を重ねても、残念ながら「別会社だから」として、東京支社危機管理本部は改善には着手しようとせず進展が見られません。

しかし、わたしたちは「命を守るために」発信し続け、何度も何度も改善が実行されるまで取り組みを続けます。皆さんの周りにも何か気がかりがありましたら放置せず「発信」をお願いします。

新型コロナウィルスとのたたかい、台風や降雪などの自然とのたたかいにJRの労使が一丸となって挑んでいかなければならぬと考えます。

多くの施策は、職場からのビルドアップなしに実現することは出来ません。経験や知恵・実行力を総動員して、安全で安心して利用できるJRが継続できるのではないか？

今出来ること！今しなければならないこと！を職場から一つ一つ明確にして、取り組むことが肝要です。

“追従”ではなく“無関心”でもなく“共に創る”をこれからキーワードにしてきましょう！

現場判断 大丈夫？

自然災害などによる計画運休などにさいして、要員を確保し、その通勤などに関する指示を発するのは『現場判断』ということが、9月に行われた団体交渉で東京支社経営側から示されました。

また、新型コロナウィルス感染予防に関する具体的な施策展開や情報公開などについても『現場判断』だと東京支社はしています。

各現場長の皆さん！“現場判断”大丈夫ですか？パソコンの画面には具体的な指示は『現場判断』としか出できません。

各現場長の皆さん！“現場判断”大丈夫ですか？普段から、多くのチャンネルを開いて準備をして、安全で安心して働く職場の創造を実践していただきたいと思います。

職場では？！

「なんでオレの職場は“シーツやカバー”を毎日変えることが出来ないの？」とエルダーの先輩から悲痛な声が届きました。

仲間たちが調べたところ、同じ出向会社も“毎日取り換えて”事業所がありました。

この違いって何なんですかね？

新型コロナウィルス感染予防に関しては、グループ会社と一体となって取り組まなければなりません。事態が改善されるまで声を大にして訴え続けていきます、応援よろしくお願ひします。

会社経営に責任ある方々は、シッカリ自分たちの足元を見てシッカリその責務を果たしてください！